

## 令和7年度第2回下野市図書館協議会議 議事録

審議会等名 令和7年度第2回下野市図書館協議会  
日 時 令和7年7月23日（水）午前9時30分から午前10時40分まで  
会 場 下野市役所3階 教育委員会室  
出席者 鈴木一恵委員長、鈴木秀男副委員長、大垣玉枝委員、石井幸代委員、下山千恵子委員  
松本有幸委員、高木智子委員、白石恵子委員、齋藤佳代子委員、大橋珠恵委員  
市側出席者 （事務局） 生涯学習文化課 野口修一課長、猪瀬貴之課長補佐、芳賀鉄矢主査  
（指定管理）和田総括管理運営責任者兼石橋図書館管理運営責任者、  
中山国分寺図書館管理運営責任者、佐藤南河内図書館管理運営責任者  
公開・非公開の別 （  公開  一部公開  非公開 ）  
傍聴人 なし  
報道機関 なし  
議事録（概要）作成年月日 令和7年8月12日

### 協議事項等

#### 1. 開会

#### 2. 委員長あいさつ

#### 3. 議事

##### （1）令和6年度図書館評価報告（案）・公表について

（事務局）資料に基づき説明。

##### 【質疑等】

（松本委員）5ページ目の図書館ホームページへのアクセス数だが、令和5年度から急激に増えているのは特別な理由があったのか。

（石橋図書館）システムが変わり令和4年度までのアクセス数の計算方法と変わったためである。

（白石委員）5ページ目の成果指標だが、上段の数値と下段の実績値の違いは何か。

（石橋図書館）上段は目標値である。

（松本委員）各年度の目標値は令和7年度までの目標値を按分した数値である。

##### （2）令和7年度図書館評価について

（事務局）資料に基づき説明。

（石橋図書館）資料に基づき説明。

（国分寺図書館）資料に基づき説明。

（南河内図書館）資料に基づき説明。

##### 【質疑等】

（松本委員）ここに記載されている単年度目標は基本的には昨年度から継続で、昨年度と同じ内容が記載されているという理解でよかったと思うのだが、新規の事業、例えば南河内図

書館で実施したセラピードッグなどはここには記載されないのか。

(事務局) 大きな事業の括りとしては記載しており、講座名などの具体的な事業名については、実績報告時に挙がってくる。

(高木委員) 学習支援セットとは具体的にはどのようなものなのか。

(石橋図書館) 授業で役立つものをテーマ別にセットにしてストックしており、希望があれば貸し出すものである。

(高木委員) テーマとはどのようなものがあるのか。

(国分寺図書館) 例えば教科書に出てくるような生き物というテーマのセットなど、教科別で集めている。

(高木委員) 確かにテーマ別というのありがたい。

(石井委員) 小学校でおはなし会を実施しているが、おはなし会で読んだ本や関連したシリーズの本が学校の図書室では揃えづらく、また、そういった本は子どもたちの興味も高いので、興味が冷めないうちにシリーズで読めるようにしてほしい。

### (3) 読書活動推進計画骨子について

(事務局) 資料に基づき説明。

#### 【質疑等】

(白石委員) 以前の計画ではボランティアをいかに増やすか、ボランティアを支援するかがうまく取り込まれていたが、この資料にはボランティアを使うという感じのことしか入っていないように感じる。そのところはボランティアを主体としてどのように考え、どのように一緒にやっというかと考えているのか。また、16番に蔵書のデータベースの充実とあるが、これはどういう意味なのか。ボランティアの立場としては、ある本がどこにあるか尋ねられたときに、学校図書室にあると思うなどと言わざるを得ない状況である。そういった点でもボランティアとの連携や情報提供をしていただきたいので、もっとボランティアについても考えていることがわかるような形にしてもらえるといい。

(事務局) ボランティアについては11番のボランティアの活動場所の拡大や45番のボランティアとの連携による読書活動の推進の箇所でもう少し入れていく予定である。

(松本委員) まず1点目だが、図書館基本計画と子どもの読書活動推進計画を統合にするということだが、図書館基本計画と読書活動推進計画は性格が異なっており、その2計画を統合するという点で気になる。

また、図書館の運営方針が基本計画となっているものと考えているが、資料3には運営方針が含まれていないと感じる。資料3にその視点が必要ではないかと考える。

2点目は、「成人期における読書活動の推進」の具体的な取組が抽象的すぎると感じる。施策番号41番から46番を再掲でここに入れてもいいのではないかと。

また、39番は連携の内容なので、「連携・協働による読書活動の推進」にも再掲で入れたほうがいいのではないかと。

3点目は、「図書館資料、ICT等の整備・充実」についてだが、ここでは資料という表現を使用している。図書館だと通常蔵書という表現を使用するが、この資料は蔵書とは異なる資料を指しているのか。現行の図書館基本計画では蔵書という表現を使

用している。

4点目は基本理念についてだが、「育成」という言葉に違和感を感じる。例えば醸成などに変えてみてはどうか。

(事務局) 今回提示したものは、基本方針であり、より具体的な取り組みは今後つけ加えていく。また、成人の分野は弱い分野であり今回の課題の一つである。成人の読書活動の更なる推進に対し、良い提案等あれば協力願いたい。

資料という表現については、資料という表現が適している場合もあれば蔵書という表現が適している場合もあるので、幅広く含められる表現を用いていく。

また、今回は施策として、欠けていると思われるものがあれば足していきたい。個別の事業については次回にあげてさせていただきたい。

(松本委員) ちなみに図書館アンケートは実施しているのか。対象者数は何名なのか。

(事務局) 図書館アンケートは来館者を対象に実施中である。対象者数は各図書館150名ずつの450名である。

#### 4. その他

(事務局) 次回会議について案内。

#### 5. 閉会